

事務事業名		安全管理事業		☐ 実施計画掲載事業 ☐ 総合戦略掲載事業	
政策体系	政策名	015 やすらぎある安全なまちづくりの推進		事業期間	
	施策名	22 防災対策の推進		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 17 年度～)	
	基本事業名	05 消防体制の充実		☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令				予算科目	
所 属	部課名	大船渡地区消防組合 大船渡消防署		会計	款
	課長名	菊池 一夫		項	目
	係 名	警防係	電話	27-2119	事業
	担当者	吉田 久悦	内線	433	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		現在社会問題となっている肺癌やがんの一種である胸膜・腹膜等の中皮腫は石綿粉じんを吸入したことが主な原因と考えられています。そのため消防活動時の消防団員の安全確保を図るため分団各部に消防のための装備品を配布する事業です。主な業務は必要装備品の検討、見積依頼、契約、納品、装備品及び取扱い説明資料の配付で、事業費は装備品の購入費として支出される。		事務事業区分 ① 政策事業 ② 施設整備 ③ 施設管理 ④ 補助金等 ⑤ 一般(A～D以外)	
全体計画(※期間限定複数年度のみ)		総投入量 (千円)		事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計 (A) 0	
		人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B) 0		トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

マスク及びフィルターの更新計画による購入配布無し。
(各部10個配備完了。)

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

マスク及びフィルターの更新計画による購入配布無し。(各部10個配備完了。)

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

大船渡市消防団員

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

各種災害時の消防団員の安全を確保した活動ができる。

④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)

災害時及び出火時に安全的確な消防活動ができる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
ア 装備品配布個数	個
イ	
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ 大船渡市消防団員	人
キ	
ク	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称	単位
サ 大船渡市消防団	個
シ	
ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円						
		地方債	千 円						
		その他	千 円						
		一般財源	千 円	250	250	97	0	0	0
	人件費	事業費計 (A)	千 円	250	250	97	0	0	0
		正規職員従事人数	人	1	1	1			
		延べ業務時間	時 間	720	720	720			
⑤活動指標	人件費	人件費計 (B)	千 円	2,880	2,880	2,880	0	0	0
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	3,130	3,130	2,977	0	0	0
	活動指標	ア	個	42	42	162	0	0	0
		イ							
		ウ							
⑥対象指標	対象指標	カ	人	950	925	909	891	872	815
		キ							
		ク							
⑦成果指標	成果指標	サ	個	42	42	162	0	0	0
		シ							
		ス							

事務事業ID	1093	事務事業名	安全管理事業
--------	------	-------	--------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

平成17年8月岩手県総務部総合防災室から、消防団員が災害現場において石綿に対する安全対策をとるよう通知された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署では、石綿障害予防規則を制定し平成17年7月1日に施行している。この規則では石綿を使用している建物等の解体作業等に従事する作業員のばく露防止が義務付けられる等、石綿による健康被害がいかに深刻なものか理解できます。このことから火災現場等で活動する消防団員の石綿粉じんによる健康被害防止のため、よりいっそうの装備の充実を図らなければなりません。消防団の装備の基準等の一部改正が平成26年に施行、第三条に全団員に防塵マスクを配備するよう明記されました。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

平成17年事業開始から購入配備を進めてきたが、古いものは経年劣化が進んでいる物もあり、更新の要望がされている。

2 評価の部(SEE)＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	安全管理事業であり、消防団員の安全確保につながることで確な災害対応ができる。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	市町村は当該市町村の区域における消防を十分に果たすべき責任を有することから公共関与は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	大船渡市消防団員が対象であることから適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	計画どおりの成果を上げており、これ以上の向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	消防活動に携わる消防団員の石綿による健康被害が懸念される。計画的な更新が必要である。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	石綿防塵マスクの中でも廉価なものを選定し支給しているためこれ以上削減できない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	正規職員の適性人数で担当しているため、これ以上削減の余地は見込めない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	消防活動で使用するものであり、その費用の負担は公費によるものが適切である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		(2) 改革・改善による期待成果																						
① 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止		左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>●</td><td>×</td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																								

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	消防団員の健康被害軽減のため、劣化したマスクの更新、使用期限の切れたフィルターの更新を計画的に実施していく。